

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

現在、腎臓小児科では、下記の共同研究機関から診療情報等の提供を受けて、下記研究課題の実施に利用しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは共同研究機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方・またはそのご家族の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合には、下記の各共同研究機関へ直接ご連絡いただくか、もしくは下記本学の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名] 小児期発症 IgA 腎症の腎予後予測因子の検討

[共同研究の研究代表機関及び研究代表者]

研究代表機関・研究代表者：東京女子医科大学 腎臓小児科 教授 三浦健一郎  
本研究に関する問い合わせ先：東京女子医科大学 腎臓小児科 講師 白井陽子  
電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）

[提供を受けている診療情報等の由来者（研究対象者）]

以下に示す各医療機関において、2003年1月～2025年8月までの間にIgA腎症と診断された方

1. 東京女子医科大学 腎臓小児科（機関の長：清水治）
2. 大阪医科薬科大学 小児科学（機関の長：佐野浩一）  
研究責任者・問い合わせ担当者：松村英樹 電話：072-683-1221
3. 高知大学医学部附属病院 小児思春期医学講座（機関の長：受田浩之）  
研究責任者・問い合わせ担当者：石原正行 電話：088-866-5811

[提供を受け、本学で利用している診療情報等の項目]

診療情報等：診療情報等：年齢、身長、体重、診断、腎病理所見、血液検査（Cr）、尿沈渣、尿蛋白クレアチニン比、治療内容

[利用・提供の目的]（遺伝子解析研究：無）

小児IgA腎症患者を対象として、扁桃摘出ステロイドパルス療法の有効性と、腎予後予測因子を検討することを目的とした共同研究実施。

[研究実施期間および主な提供方法]

期間：倫理審査委員会承認後より2030年8月までの間（予定）  
提供方法：☐直接手渡し ☐郵送・宅配 ☒電子的配信 ☐その他（ ）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[東京女子医科大学における機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治  
研究責任者：東京女子医科大学 腎臓小児科 教授 三浦健一郎  
研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 腎臓小児科 白井陽子  
電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）